

2020年1月27日

報道関係各位

新しい時代の再開発の形を提案するマイクロ複合施設が完成

日本橋兜町再活性化のきっかけを作るマイクロ複合施設 『K5』がいよいよグランドオープン！

HOTEL K5、CAVEMAN、B、青淵（AO）、SWITCH COFFEE など
時代を切り拓く先鋭的なコンテンツが詰まった新施設

株式会社 FERMENT（Backpackers' Japan、Media Surf Communications、Insitu Japan の3社が2019年11月に合同で設立）は、日本橋兜町の再活性化の”点”となるマイクロ複合施設「K5（ケーファイブ）」を、2020年2月1日（土）、正式にオープンいたします。



「K5」は、1923年竣工（築97年）の歴史的建造物の外観・躯体はそのままに、内部を丁寧にリノベーション、キュレーションすることで、日本橋兜町の街全体の再活性化のきっかけを生む”点”となることを目指しています。

建築・空間デザインを監修したのは、スウェーデン・ストックホルムを拠点に活躍する建築家パートナーシップ「CLAESSON KOIVISTO RUNE（以下CKR）」。国内初の銀行として建てられた築97年の歴史的建造物の重厚感と素材感を尊重しつつ、北欧と和のテイストが絶妙なバランスでブレンドされた、感性を凝縮したような斬新な場所が完成しました。

地下1階～地上階は「K5」のみで体験することのできる飲食コンテンツが、地上2階～4階はデザイン性の高いブティックホテル「HOTEL K5」が入ります。この新しい”場”の中で「動」（地下1階～地上階）と「静」（＝地上2階～4階）の対比を体感することで、感性が開かれるようなエクスペリエンスを提供したいと考えています。

「K5」が日本橋兜町で表現したいこと。

REVITALIZE THE CITY

日本橋兜町の街全体が再活性するきっかけとなる強い”点”を打つ。「K5」というマイクロ複合施設がオープンすることで、そこに感度の高い人々が自然と集まるようになり、まわりに多様な施設が出来始め、街全体が色づいて活気づいていく。というビジョンを掲げて推進してきたプロジェクト。

AIMAI

・ホテルの一般的な空間構成とは一線を画す、シームレスで曖昧な空間づくりがコンセプトの1つ。1Fのレストラン「Caveman」からコーヒESHOP「Switch Coffee」までを途切れさせず、自然と視線が流れる空間となります。

・客室前の廊下部分と客室内のタイルを統一しそれを客室ごとにパターンを変えることで、客室と廊下の境目が曖昧になり1つの空間として繋がっているように感じる工夫が施されています。



シームレスに繋がる1Fの飲食空間

TIMELESS

・築97年の歴史的建造物の外観は、既にそこに存在していた歴史、時間を尊重するために可能な限りそのまま残しています。内部のみCKRのデザインによるリノベーションを施し、歴史的なものとの先鋭性が対比する唯一無二の独創的な空間となっています。

・地上階の飲食フロアの床および「HOTEL K5」の客室の床は、97年前のコンクリート躯体をそのまま活かし、時の流れを感じるその独特な風合いを醸し出す素材感を大切にしています。



「K5」内の至るところに植栽をアレンジ

RETURNING TO NATURE

・都市と自然の対比を表現するべく、先鋭的な植栽演出集団である Yard Works が「K5」内部のそれ

それぞれの空間に合わせてセレクト、アレンジした植物が館内にふんだんに配されています。客室内に至るまで多くのスタイリッシュな植栽を配置。コンクリートの多いオフィス街の中に身を置きながらも、より自然を感じられる場所づくりを大切にしています。

「K5」に集う、先鋭的なコンテンツ

「B」 (ビアホール)

営業時間：16:00~23:00

ニューヨークのクラフトビールメーカー「Brooklyn Brewery」の世界初の旗艦店。多種多様な Brooklyn Brewery のクラフトビールを片手に、タコスやナチョスを中心としたフードも楽しめる躍動感あふれる空間。様々なライブイベント等も入り、足を運ぶたびにその姿を変える場所となります。

CAVEMAN (レストラン)

営業時間：7:30~12:00 / 18:00~23:00 (ワインバーは 15:00~23:30)

日本、フランス、デンマークなど多様な文化によって創発された東京・目黒の人気レストラン「Kabi」の新しいレストラン。国籍に囚われない、見たこともない料理の数々をナチュラルワイン等に合わせて提供します。また「HOTEL K5」の朝食もここで提供。

青淵 (バー)

営業時間：14:00~25:00

田中開と野村空人の両氏がプロデュースするライブラリーバー。アジアのお茶や漢方をベースにしたカクテルを提供。滞在する人への癒しとなるようなメニューで、室内は本棚に囲まれている空間となっており、本を読みながら様々なドリンクを楽しむことができる。日中はティーサロンとしても営業します。

SWITCH COFFEE (コーヒーショップ)

営業時間：7:00~17:00

目黒、代々木八幡に店舗を構える人気コーヒーショップの3店舗目。エスプレッソやカフェラテなどのほかシングルオリジンの丁寧なドリップコーヒーをラウンナップ。朝から夕方まで何時立ち寄っても手軽に質の高いコーヒーを楽しむことができます。



1F Caveman メインダイニング



1F Caveman ワインバー



B1F ブルックリンブルーフリー「B」



1F Switch Coffee

「HOTEL K5」について



2F～4F を占める「HOTEL K5」は、全 20 部屋と小規模ながらも安らぎとインスピレーションを同時に提供する、ハイエンドブティックホテル。建物が醸し出す重厚感ある外観と東京に点在する自然そのものからインスパイアされ、先鋭的でありながらもその場所における「時の重なり」や「日本の伝統」を意識したタイムレスなデザインをコンセプトとしています。

「HOTEL K5」は、上質で独自性のある小規模ラグジュアリーホテルの世界的なネットワーク「**Design Hotels™**」に加盟。宿泊料金は 1 泊約 20,000 円～150,000 円/部屋を予定。同ホテルの宿泊予約は、「K5」オフィシャルサイト及び各種宿泊予約サイトにて受け付けています。



「HOTEL K5」各客室タイプのご紹介

◎ K5 LOFT



客室面積：80 m²
 ベッドサイズ：キング
 宿泊人数：2名
 バスルーム：バスタブ、シャワー、洗面台、トイレ
 アメニティ：キッチン、ミニバー、レコードプレーヤー、
 ダイニングテーブル、ワードローブ、書籍、植栽

K5の世界観が最も表現された、1部屋のみ最上級スイートルーム。80平米の広さと4.5m超えの天井高が生み出すのは、東京でも稀な爽快感のあるセンシティブな空間。客室内には大きなダイニングテーブルとキッチンも配され、存分リラックスしたプライベート利用からパーティー利用まで可能となります。

◎ JUNIOR SUITE



客室面積：40～43 m²
 ベッドサイズ：キング
 宿泊人数：2名
 バスルーム：バスタブ、シャワー、洗面台、トイレ
 アメニティ：ミニバー、レコードプレーヤー、ワードローブ、
 書籍、植栽

JUNIOR SUITEは開放感溢れる上質なスイート。ベッドスペースは藍色に染められた柔らかいカーテンに囲まれ、プライベートな雰囲気ゆとりとくつろぎを演出。リビングエリアにはK5オリジナルの美しい家具を配置。バスルームには広々としたバスタブが備えられ、静かに感性を研ぎ澄まされる時間を提供します。（※4Fの同タイプの部屋のみ、天井高4.5mとなります。）

◎ K5 ROOM



客室面積：35～38 m²
 ベッドサイズ：キング
 宿泊人数：2名
 バスルーム：シャワー、洗面台、トイレ
 アメニティ：ミニバー、レコードプレーヤー、ワードローブ、
 書籍、植栽

K5 ROOMはHOTEL K5のスタンダードなお部屋です。スタンダードとはいえ空間に合わせて製作されたK5オリジナルの美しい家具が配置され、特別な空間を生み出しています。ベッドス

ペースは藍色に染められた柔らかいカーテンに囲まれ、プライベートな雰囲気ゆとりとくつろぎを演出します。（※4F の同タイプの部屋のみ、天井高 4.5m となります。）

◎ STUDIO



客室面積：21 m²
 ベッドサイズ：クイーン
 宿泊人数：2名
 バスルーム：シャワー、洗面台、トイレ
 アメニティ：ミニバー、レコードプレイヤー、ワードローブ、
 書籍、植栽

STUDIO は HOTEL K5 の世界観と魅力を最も気軽にお楽しみいただけるお部屋です。コンパクトでありながら落ち着きと機能性を兼ね備え、プライベート利用にもビジネス利用にも適したタイプとなります。

※「K5」広報写真素材は、右記 QR コードよりダウンロードいただけます。



K5 施設概要

名称：K5（ケーファイブ）
 開業日：2020年2月1日（土）グランドオープン
 住所：東京都中央区日本橋兜町3番5号
 メール：info@k5-tokyo.com
 アクセス：
 東京メトロ東西線・銀座線、都営浅草線 「日本橋駅」 徒歩5分
 東京メトロ東西線・日比谷線 「茅場町駅」 徒歩5分

ウェブサイト：<http://k5-tokyo.com>
 インスタグラム：https://www.instagram.com/k5_tokyo

各種広報素材、詳細情報、ご取材などにつきましては、下記お問い合わせ先までご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

お問い合わせ先

K5 開業準備室 広報担当
 大倉 Tel：080-6592-0030 / Email：kohei@mediasurf.co.jp
 中室 Tel：080-4299-6566 / Email：muro@yolken.co.jp
